

一歩 みんなのIPPO

令和2年11月26日(木)
四季が丘小学校 研究推進便り

11月20日(金)に、広島県西部教育事務所の田村幸一郎指導主事をお迎えし、中堅教諭等資質向上研修を行いました。

白根先生は「もとの数はいくつ」～図を使って考えよう～の授業を、高祖先生は「面積」の授業を行いました。

どちらの授業も、子供たちの思考に寄り添った支援や手立てがちりばめられていました。

白根先生の授業で登場したのが、「もとこちゃん」です。問題文から必要な数量を抜き出して、それらの数量の間の関係と必要な数量を整理して、「順にもどして」解決するために「もともになる数」は何かを意識させるためにとても有効でした。

視覚支援のためのパワーポイント資料もちょっとした遊び心があり、子供たちは自然と笑顔になりました。それらを通じ、課題の大きな児童が、発表したり、ホワイトボードにまとめたり、自分の考えを説明したりなど主体的に学びに向かうことができていました。

田村指導主事が感動されたのが、白根先生が当日欠席の子供の席も入れてグループ活動をするよう指示されたことです。日頃のあたたかい学級経営、一人一人を大切にしている担任の思いを感じました。



高祖先生の授業で登場したのが、「見えるくん」です。複合図形に補助線をひく良さを導くために色分けした図形を提示することで、スムーズに「分けてたす」という本時のねらいにつながることができていました。

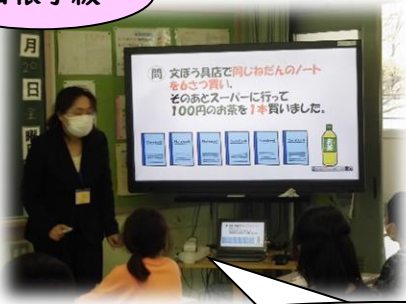
高祖先生に「見えるくん」のネーミングセンスが素晴らしいと伝えたところ、なんと本時の授業中にひらめいたと笑顔で教えてくださいました。以前、恩師から「授業や研究について考えることを続けると、ある時、ふっとすごいアイデアが生まれてきますよ。」という話をされたことがあります。高祖先生の話を知って、そのことを思い出しました。高祖先生のように、楽しみながら授業について考える姿を見習いたいですね。



「45495。」この数はいったい何を表しているでしょう。これは、6年間の算数の授業時間を表しています。この数を授業回数として置き換えてみると1011回もあることになります。これだけの時間をかけて子供たちは小学校で算数を学習します。

参観したお二人の授業は、子供たちにとってかけがえのない1/1011の算数の授業になりました。

白根学級



本単元のポイントとなる「もとこちゃん」登場!



問題場面をわかりやすくパワーポイントで資料提示し、理解につないでいます。

グループの仲間に自分の考えを丁寧に説明しています。



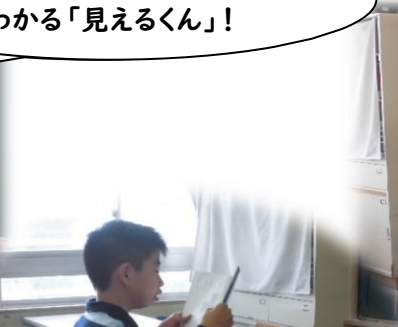
話し合い活動もとてもスムーズにスタートできます。

愛情たっぷりの学級経営と授業づくりに指導主事も感動!!



高祖学級

補助線をどのように引くとよいかがわかる「見えるくん」!



数学的な活動も効果的に取り入れています。



自信をもって振り返りを発表できます!



導入での児童の学びを大切に授業を創り、展開しています。